

スタンドパイプ式初期消火器具 取扱要領

消火栓のフタを開け方

旧型消火栓

鍵穴に消火栓
カギを差し込む



カギをさしたまま、持
ち手を上げ、テコの原
理でフタを持ち上げる



フタを持ち上げたま
ま、手前に引いてフ
タを開ける



新型消火栓

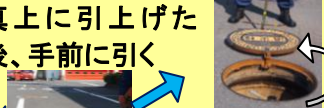
差し込んだ消
火栓カギを90
度回転させる
消火栓カギを消火栓の
◎の穴に差し込む



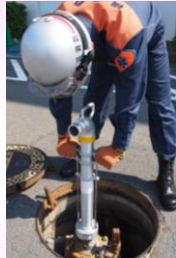
持ち手を下げテコ
の要領でフタを持
ち上げて緩める



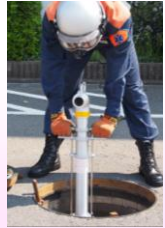
真上に引上げた
後、手前に引く
ジョイント部を中
心に回転させな
がらフタを開ける



消火栓担当者



スタンドパイプの支
持レバーを上強く
引っ張り結合の確認



消火栓にスタンド
パイプを結合



スタンドパイプに
バイカイを結合

バイカイにホ
ースを結合



ホースを強く引っ
張り結合の確認

消火栓カギ
を差し込む



「放水はじめ」の合図
を確認後、消火栓カ
ギを時計回りに、ゆっ
くり回し、水を出す

「放水やめ」の合図
を確認した場合、直
ちに、消火栓カギを
時計と逆回りに回し
水を止める



ツツサキの取扱(水を出す)

ツツサキ先端の黒い部
分を回すことにより、水
を出したり止めたりする
ことができます。



先端の黒い部分
を反時計回りに
回すと水が出ま
す。

◆手を真上に上げ、大きな声で「放水始め」と、消火栓担当者に伝える(消火栓担当者が視認できない場合は、協力者に伝えてもらう)
◆合図後は、いつ水が出ても大丈夫なように、ツツサキをしっかりと保持する



「放水やめ」の合
図は手を横に水
平に上げ、大きな
声で消火栓担当
者に伝える

ツツサキ担当者

ホースを結合する

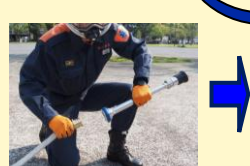


ホースとホースを強く
引っ張り結合の確認

差し口を持って目標に向
かいホースを引っ張る



ホースとツツサキを強
く引っ張り結合の確認



ホースに
ツツサキを結合



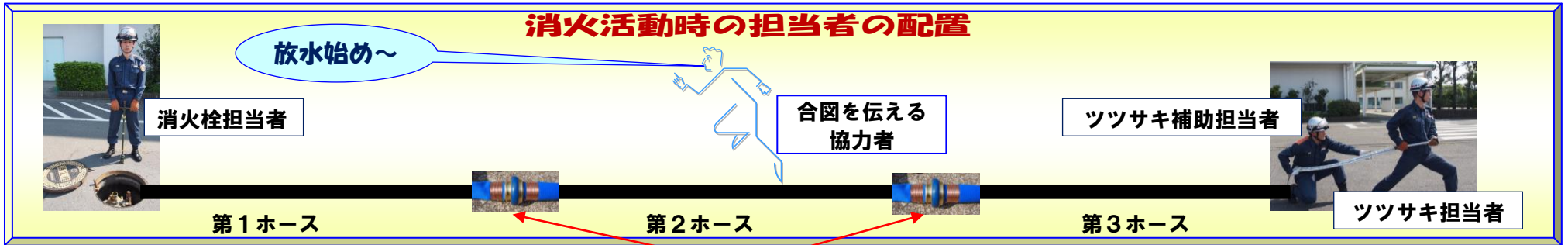
放水時、後ろに引
かれるような反動
力が加わるので前
傾姿勢をとる

◆ツツサキは消火目標に向け、腰の位置でしっかりと保持する
◆ツツサキ補助員は放水担当者のすぐ後ろのホースを両手でしっかりと保持する



スタンドパイプ式初期消火器具

取扱要領



各結合部の名称等

受け口 (Receiving Port) | 差し口 (Insertion Port) | 離脱環 (Release Ring) | 消火栓内部 (Fire Hydrant Interior)

スタンドパイプ 取付け部 (Standpipe Attachment Part) | 消火栓カギ取付け部 (Fire Hydrant Key Attachment Part)

※ 各部の名称については、市民の方にわかりやすい名称で表しています。

スタンドパイプ式初期消火器具名称

台車 (Cart) | 消火栓カギ (Fire Hydrant Key) | バイカイ (Bicycle Key) | ホース (Hose) | ツツサキ (Nozzle) | スタンドパイプ (Standpipe)

差し口と受け口の結合方法

結合は差し込み式で、「カシャ」と音がするまで押し込む

差し口と受け口の離脱方法

離脱環を受け口に向けて引き付ける
離脱環を引き付けた後、離脱する

スタンドパイプの離脱方法

- ①必ずホースを外してからスタンドパイプを外す
- ②両手で支持レバーと離脱レバーを握り、ツメを外す
- ③その後、握ったままスタンドパイプを持ち上げ、消火栓から取り外す

危険 注意

スタンドパイプを消火栓に取付け後、

- ◆Aタイプ 赤ラインが地上に出る
- ◆Bタイプ スタンドパイプ本体が半分以上、地上に出る

場合は、スタンドパイプは使用せず、**直接消火栓に、バイカイとホースを取り付ける方が安全です。**

Aタイプ 赤ライン表示有り (Type A: Red line visible)
Bタイプ 赤ライン表示無し (Type B: Red line not visible)

訓練を実施するときの注意事項

- ◆訓練を実施する場合、必ず事前に、もよりの消防署に連絡してください。
- ◆訓練を実施するうえで、最も重要なことは、「ケガや事故を起こさない」ことであることを参加者に理解してもらってください。事故防止策については消防署にご相談ください。
- ◆訓練実施場所で危険な個所に、参加住民・子供等が近づかないよう、危険範囲を明示し、事故防止のための監視員を配置してください。
- ◆訓練参加者の服装は、動きやすい服装で、手袋を持参するよう事前広報し、サンダル履き・素手等では、訓練を実施しないでください。